

製品名: BMAL1 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe87713**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:200-1:1000,ICC/IF 1:100-1:200,IP 1:20-1:40
分子量	Calculated MW:69 kDa; Observed MW:78 kDa

抗原情報

遺伝子名	BMAL1
別名	TIC; JAP3; MOP3; ARNTL; PASD3; ARNTL1; BMAL1c; bHLHe5
遺伝子ID	406, 11865, 29657
SwissProt ID	O00327, Q9WTL8, Q9EPW1
免疫原	ヒト BMAL1 の合成ペプチド

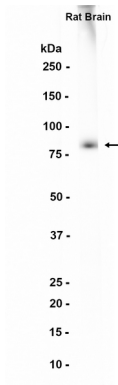
背景

この遺伝子によってコードされるタンパク質は、CLOCK とヘテロ二量体を形成する基本的なヘリックス・ループ・ヘリックスタンパ

ク質です。このヘテロ二量体は、Period 遺伝子 (PER1、PER2、PER3) および Cryptochrome 遺伝子 (CRY1、CRY2) の上流にある E ボックスエンハンサーエレメントに結合し、これらの遺伝子の転写を活性化します。PER および CRY タンパク質は、CLOCK/ARNTL 複合体とフィードバックループを形成して相互作用することで、ヘテロ二量体を形成し、自身の転写を抑制します。この遺伝子の欠陥は、不妊症、糖新生および脂肪生成の障害、睡眠パターンの変化と関連付けられています。このタンパク質は、インターフェロン刺激による遺伝子発現を制御し、COVID-19 を含むウイルス感染の重要な因子です。[RefSeq 提供、2021 年 10 月]

研究分野

画像データ



BMAL1 ウサギモノクローナル抗体を 1:1000 で使用してラット脳組織抽出物のウエスタンブロット分析を行いました。